

放課後子供教室と学校との連携について ～子供たちが生き生きと活動できる居場所づくりを目指して～

広島県立生涯学習センター
専門員 毛利 洋子

調査研究の概要

今後、広島県内の放課後子供教室の活動をより一層充実させるためには、学校とより綿密に連携していく必要がある。そこで本調査研究では、県内全市町の放課後子供教室の担当者を通じてその実態について情報収集を行い、工夫している点や好事例などについて分析を行った。さらに、県内でも特に学校と放課後子供教室の連携が充実し、活動が活発化している学校の全教職員を対象としたアンケートを実施し、そこから見えてきた連携をめぐる課題と今後の方向性について提案する。

子供たちの放課後対策について文部科学省では、「次世代の学校・地域」創生プランを策定し、放課後子供教室等の地域組織が基盤となって、未来を担う子供たちの成長を支え合う地域をつくる活動の創造と、安心して子育てできる地域環境の整備に着手しようとしている。また、そこでは、子供も大人も自らの多様な経験や技術を生かし学び合える教育体制の充実も求められており、「一億総活躍社会」の場としての放課後子供教室の活動の在り方も検討されようとしている。

しかしながら学校では、日々の業務量の多さや負担感もあり、まだまだ、教職員の放課後子供教室に対する理解は不十分で、地域は学校を支援するものという考えが根強く残っている。

広島県においても、平成 19 年度に放課後子ども教室推進事業が創設されて 8 年が経過しているが、その活動内容や運営方法については、市町により様々である。地域によっては、事業に対して学校現場の理解が不十分で、連携がとれていない等の実態がある。

そうした中で、地域の大人たちが自分たちの力で楽しく子供たちを育てていく手段として、放課後子供教室があることを念頭に、放課後子供教室の活動が充実している学校に、教職員の連携についての意識調査を行い、どんな仕組み作りがあって、どうすれば連携がうまくいくのかを考えていく一助として情報提供をすることで、どの学校（地域）でも放課後子供教室を推進し、活動が活発になるように調査研究を行った。

調査研究の構成

- 1 はじめに <テーマ設定の理由と目的>
- 2 放課後対策による最近の国の動向
- 3 放課後子供教室の県内の実施状況
- 4 学校との連携についての状況
- 5 学校との連携がうまくいっている教室事例
- 6 課題と今後の方向性
- 7 参考文献，引用文献等

放課後子供教室と学校との連携について

～子供たちが生き生きと活動できる居場所づくりを目指して～

広島県立生涯学習センター
専門員 毛利 洋子



もくじ

- 1 はじめに
- 2 放課後対策による最近の国の動向
- 3 放課後子供教室の県内の実施状況
- 4 学校との連携についての状況
- 5 学校との連携がうまくいっている教室事例
- 6 課題と今後の方向性
- 7 参考資料・引用文献等

1 はじめに

<テーマ設定の理由と目的>

文部科学省は平成19年度から、学校・家庭・地域と連携して、放課後などに子供たちに学習や様々な体験・交流活動等の機会を提供するため、放課後子供教室を推進している。

平成26年度には、全国の公立小学校の51%に11,991教室が開設されて、年々増加してきており、取組の効果が高まり、学校・家庭・地域の協働体制の構築や地域とともにある学校づくりが進んできているといえる。

広島県ではその活動内容や運営方法については、市町により様々であり、地域によっては、学校との連携や情報共有など十分でないなど課題があり、事業に対して学校現場の理解が得られていない等の実態がある。

こうした中で、学校とうまく連携している教室の中から2事例について提示し、これを踏まえ、どの学校（地域）でも全ての子供たちにとって充実した放課後子供教室の活動が展開されて行くとともに、学校を核とした地域力強化のための仕組みづくりを進めていく一助としたい。

2 放課後対策における国の最近の動向

平成19年度

• 放課後子どもプラン

平成20年度

• 学校支援地域本部事業

平成23年度

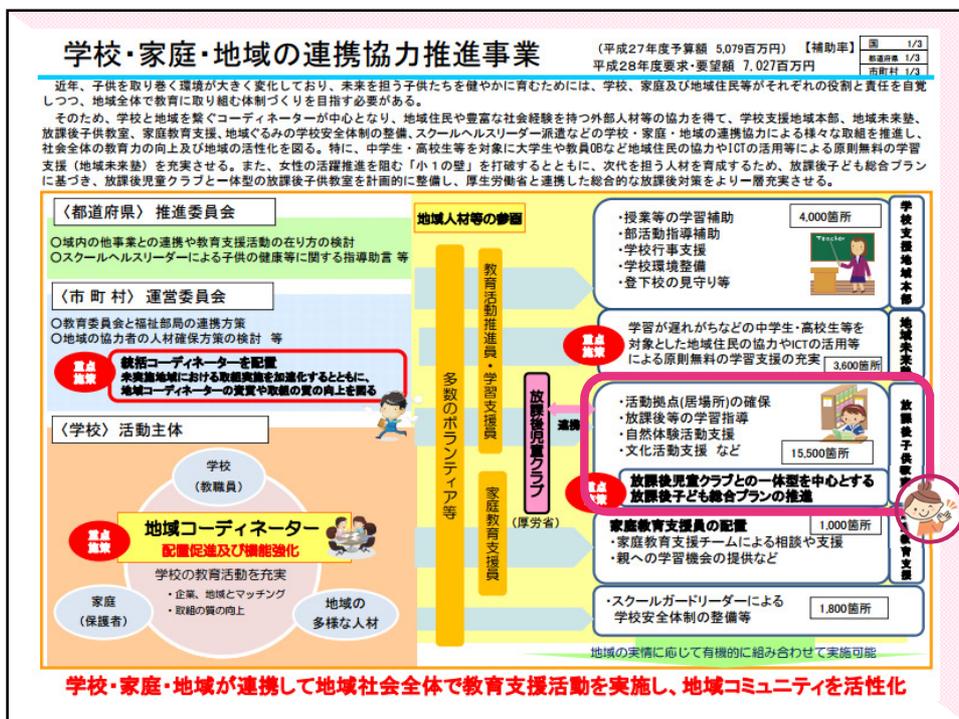
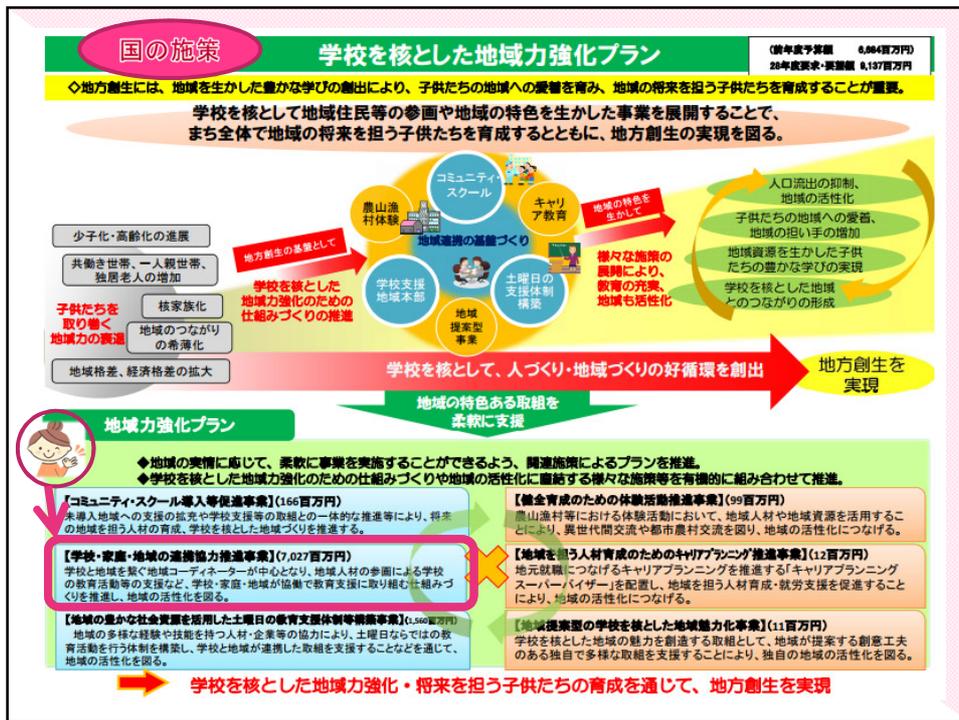
• 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業

平成26年
7月

• 放課後子ども総合プラン

平成28年度

• 学校を核とした地域力協力プラン

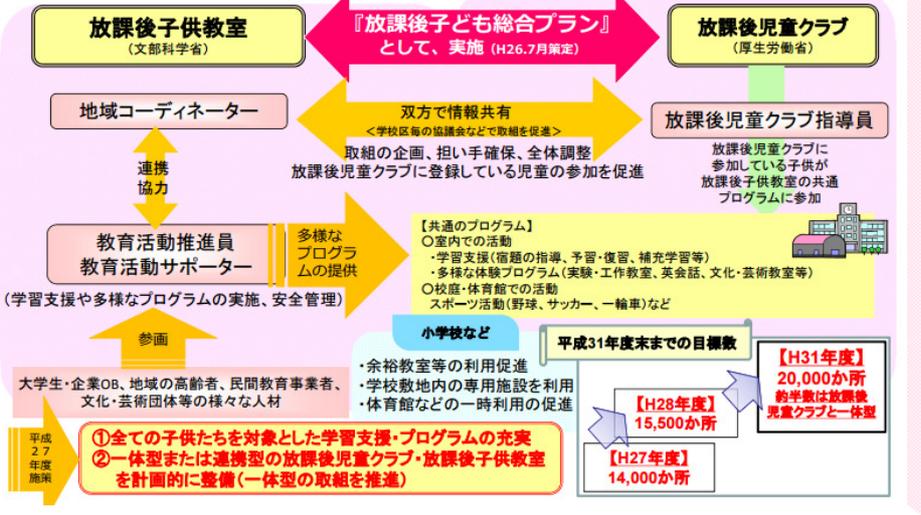


放課後子供教室

～放課後子ども総合プランの推進～

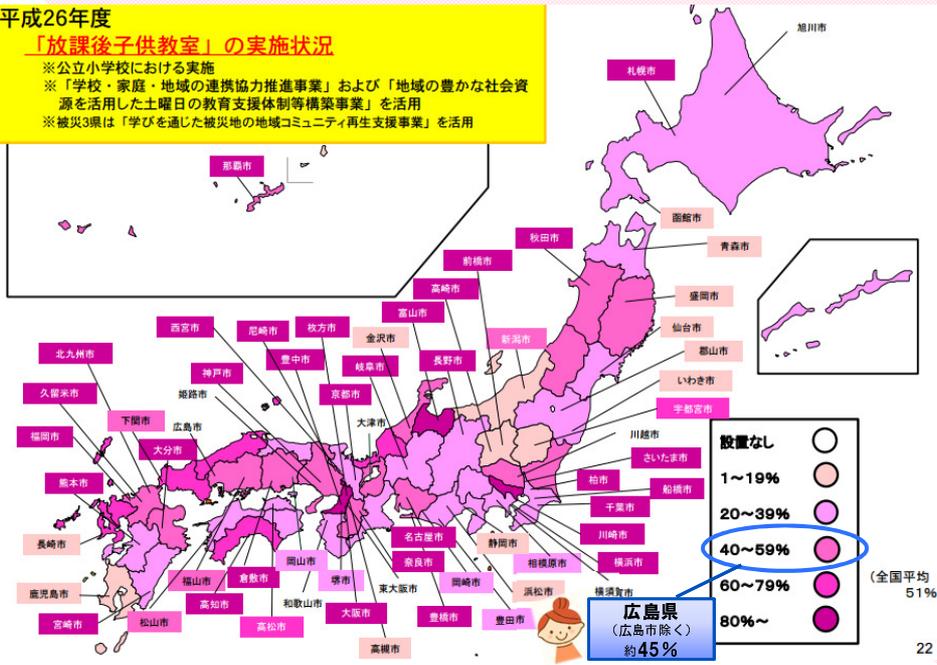
(前年度予算額 5,079百万円の内数) 【補助率】
 平成28年度要求・要望額: 7,027百万円の内数 国 1/3
 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部で実施 北海道庁 1/3
 市町村 1/3

女性の活躍推進のためには、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策に取り組むことが必要



平成26年度 「放課後子供教室」の実施状況

- ※公立小学校における実施
- ※「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」および「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を活用
- ※被災3県は「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用



3 放課後子供教室の県内の実施状況

(1) 放課後子供教室と学校との連絡調整及び運営状況等

別紙1

市町名	文科省 事業実施 の形態	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所			学校との連絡調整				行動計 画の 策定	設置 要請	主体	運 営 状 況					
				学校	公民館等	市町	学校との連絡調整			活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施					
							コーディネーター 等	その他	市町	コーディネーター 等				その他	市町	コーディネーター 等	その他		
広島市	無	青少年育成部 育成課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
呉市	有	文化スポーツ部 文化振興課	2	2	-	○	○			△	○	市		○			○	○	
竹原市	無	まちづくり推進課 文化生涯学習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三原市	有	教育委員会 生涯学習課	22	22	-	○	○			●	○	市		○			○	○	
尾道市	有	教育委員会 生涯学習課	12	9	3	○	○	○		○	○	市		○	○		○	○	
福山市	有	市民局まちづくり推進部 生涯学習課	39	36	3			○	○		○	市		○	○		○	○	
府中市	有	教育委員会 生涯学習課	4	2	2	○		○		●	○	市		○		○		○	
三次市	有	子育て・女性支援部 子育て支援課	5	3	2					●		委託							
庄原市	有	教育委員会 生涯学習課	8	5	3		○	○		○		委託			○				○
大竹市	有	教育委員会 生涯学習課	3	1	2	○	○			●		委託	○	○					○
東広島市	有	教育委員会 青少年育成課	32	12	20	○	○			○	○	一部委託		○	○				○

市町名	文科省 事業実施 の形態	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所			学校との連絡調整				行動計 画の 策定	設置 要請	主体	運 営 状 況					
				学校	公民館等	市町	学校との連絡調整			活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施					
							コーディネーター 等	その他	市町	コーディネーター 等				その他	市町	コーディネーター 等	その他		
廿日市市	無	教育委員会 生涯学習課	4	3	1	○	○				○	市		○	○		○	○	
安芸高田市	有	教育委員会 生涯学習課	1	-	1	○	○			○		委託		○	○		○	○	
江田島市	無	教育委員会 生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
府中町	有	教育委員会 社会教育課	5	5	-	○	○			○	○	町		○	○		○	○	
海田町	有	教育委員会 生涯学習課	2	-	2	○				●	○	町		○	○		○	○	
横野町	有	教育委員会 生涯学習課	2	-	2	○				●		町		○		○	○	○	
坂町	有	教育委員会 生涯学習課	3	3	-	○				△		町		○		○		○	
安芸太田町	有	教育委員会 生涯学習課	4	4	-	○	○	○		○		町		○	○		○	○	
北広島町	有	教育委員会 生涯学習課	4	1	3	○				●	○	一部委託							
大崎上島町	有	教育委員会 社会教育課	3	3	-	○	○			●	○	町		○	○		○	○	
世羅町	有	教育委員会 社会教育課	2	-	2	○				●		町		○		○			
神石高原町	有	教育委員会 生涯学習課	6	-	6	○	○		○	○		町		○		○		○	○
計	13		163																

※次世代育成支援対策推進法に基づき市町村行動計画策定状況が、策定済の場合は○、別計画で策定済の場合は●、平成27年度中に行動計画又は別計画を策定予定の場合は△

●平成27年12月21・22・24日●
放課後子供教室市町担当者に電話によりヒヤリング

(2) 学校との連携について

●連携の方法及び工夫している点●

- 校長会等で全体に連絡している。また、校長間でも情報交換をされている。
- 実施場所等の確認などこまめに教頭と連絡をとっている。
- 運営会議（年度当初に1回）や各教室の運営委員会（年に2回程度）などで周知している。
- 担当（管轄）する教室への視察やヒヤリング等を行っている。
- 実行委員会が各学校にある。
- 生涯学習担当会議（各学校から教諭が出席）で説明している。
- 学校支援地域本部が設置されており、毎月1回会議を開催して学校・地域と連携を図っている。
- 毎月の「教室便り」等で活動の状況を報告したり、行事や下校時刻等の確認や児童の様子を話す機会を設けたりしている。
- 毎月1回、翌月の行事等についての連絡会を開催しており、管理職のほか各学年から1名の教員の参加も得て、児童等の情報交換をしている。



◆連携が難しい点◆

- ◆ 学校内での活動のため、学校教育活動の一環という意識が高く、負担感を感じる部分があり、なかなか受け入れてもらえない。
- ◆ 活動は素晴らしいと思ってもらえる反面、連絡調整等事務量も増えるため、負担に感じている学校もある。
- ◆ 管理職の方針、考えによって、活動が左右される。
- ◆ 人材育成等が不十分で、組織的に横の連携がとれていない。

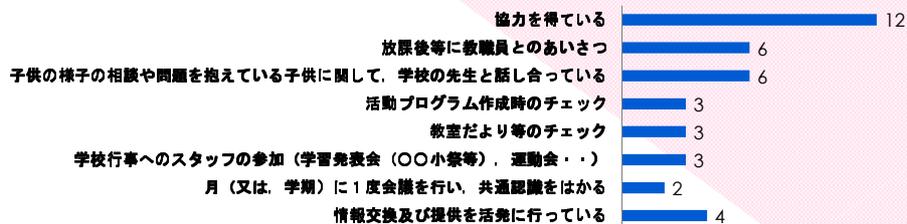


4 学校との連携についての現状

(1) 放課後子供教室と学校との連携に関するアンケート結果から

平成27年度第1回コーディネーター等研修会参加者を対象にアンケート **別紙2** を実施し、各市町の放課後子供教室と学校との連携について調査
(平成27年11月26日県内7市町17名のコーディネーター及び市町担当者から回答)

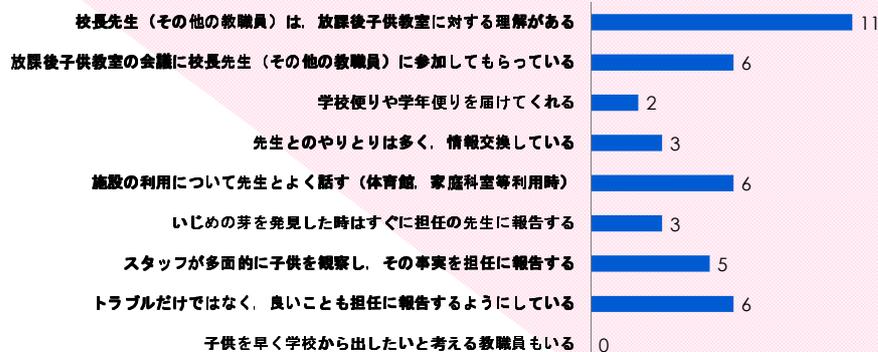
Q1 学校との関わりの現状はどのようなものですか？



<自由記述欄>

- ◎ 活動の様子の見学や募集チラシの配付、回収をしてもらっている。
- ◆ 教室によって、連携ができているところ、そうでないところがある。

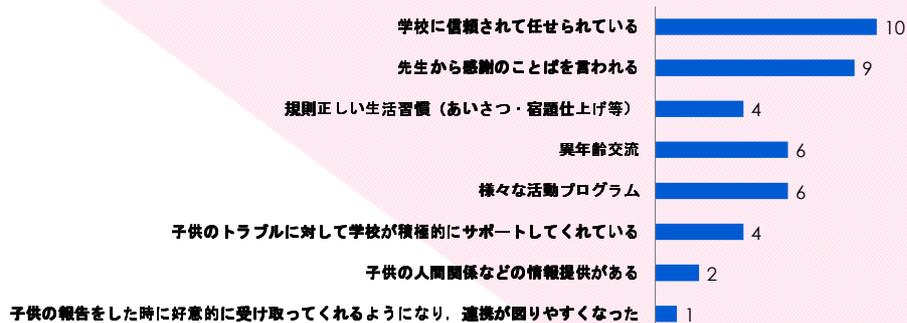
Q2 校長先生、その他の教職員の方々との関わりは？



<自由記述欄>

☺ 子供のトラブルに対して、学校がサポートしてくれるようになってきた。

Q3 学校から期待されていると感じることはありますか、それはどんなことですか？



<自由記述欄>

☺ 授業参観などの案内をもらうので学校の様子はよくわかる。

☺ 各学校の担当者会議で放課後子供教室について内容を周知する時間を例年とってもらっている。

◆ 教室によって違う。

Q4 学校に期待することは何ですか？



<自由記述欄>

- ☺ 空き教室等施設の提供。
- ☺ 活動への理解ができてきたので、今後もしっかりと情報提供を行いたい。
- ☺ 今まで以上に連携をとっていききたい。



● アンケート結果から見てきたもの ●

- 活動が充実している教室では、学校との連携のみならず、保護者との連携も進んで行われている。
- 教室によっては、連携状況に温度差がある。
- コーディネーターやボランティアだけでは限界がある。そのため、行政の支援はとても重要である。



5 学校との連携がうまくいっている教室事例

(1) 東広島市 三ツ城わくわく広場

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の活用件数が県内で最も多く、けん玉、工作、レクリエーション、ヒップホップダンス、合唱、留学生との国際交流（世界の遊び等）など様々な活動プログラムが定期的に行われている。

また、地域スタッフによるハンドベル、絵手紙、日舞、茶道等の活動を行い、夏休みにはそろばん、ヨガ教室等魅力的なプログラムが実施されている。

年間計画を立てるなど、活動の様子や状況等を学校、地域、家庭にも定期的に情報提供を行うなど連携がうまくいっている。



(2) 尾道市 長江放課後子供教室

子供たちが満足のいくように、毎月、多種多様な活動計画を立て指導員が大変熱心に取り組んでいる。文化活動（茶道など）やスポーツ（卓球など）の通常の活動に加え、季節的な行事を取り入れるなど特徴的な活動を行っている。

毎月、活動状況を報告するために、「ここにこ便り」を作成し、学校、保護者等関係者に配付し、常に情報発信に努めている。

地域、学校等との連携を密に行っており、非常に良好な関係を保っている。

平成27年度 優れた「地域による学校支援活動」文部科学大臣表彰 受賞

東広島市 三ツ城わくわく広場

(1) 教室の概要

実施場所	開始年度	開催日		年間開催日数
三ツ城コミュニティハウス 小学校の特別教室等	平成19年度	毎週木曜日 行事（土曜日）	15:00~17:00 10:00~12:00	50回
参加対象者	登録人数	平均参加人数	コーディネーター数	登録スタッフ数
小学校2年生~6年生 行事は1年生~6年生	482人	110人	1人	159人

学校との連携方法や工夫しているところ

- 毎月、活動内容を示した教室だよりを発行し、情報を提供している。
- 活動のある木曜日には、生涯学習担当教諭が給食放送の際に放送をしてくれている。
- ふれあい参観日等、学校行事へのスタッフ、地域の指導者、大学生等が参加。
- 教室で活躍している地域の人を学校の授業等への協力要請を行っている。
- 学校と教室が相互にいろいろな面で利用及び活用を行っている。
- 年間行事等、早めに連携をとって情報提供や情報収集を行っている。

東広島市の連携の取組

- 生涯学習担当者会を開催し、説明。
- 校内に生涯学習担当教員を配置している。



(2) 東広島市立三ツ城小学校

三ツ城小学校教職員を対象に「三ツ城わくわく広場」に対する意識調査に関するアンケート **別紙3** を実施 (平成27年12月 36名から回答)

● 学校の基本情報（平成27年5月1日現在） ●

学 年	学級数	児童数	果費負担教職員数（本務者）	
1年	4	128	校長	1
2年	5	141	教頭	1
3年	4	142	主幹教諭	1
4年	4	145	教諭	40
5年	4	145	養護教諭	2
6年	4	135	事務職員	2
特別支援学級	5	21		
合 計	30	857	合 計	47

尾道市 長江放課後子ども教室

(1) 教室の概要

実施場所	開始年度	開催日	年間開催日数	
長江小学校の余裕教室	平成19年度	月～金曜日 14:00～16:30 夏休みなどの休業日 9:00～12:00	207回	
参加対象者	登録人数	平均参加人数	コーディネーター数	登録スタッフ数
小学校1年生～6年生	86人	40人	1人	11人

学校との連携方法や工夫しているところ

- 毎月、活動状況を報告するため、教室便りを発行して情報提供を行っている。
- スタッフリーダーが中心となって、学校と常に連携をとって情報交換をしている。
- 毎月、活動計画について相談を行うとともに理解を得ている。
- 人事異動があっても学校の体制が変わることなく、協力と連携ができています。
- 年2回の実行委員会の開催などを通して、活動に対する教職員の理解や意識統一が図られるとともに、職員の参加体制が整っている。

尾道市の連携の取組

- 運営委員会を年度当初に1回、各教室の運営委員会を年2回開催。
- 学校・地域連携コーディネーターが各教室の活動状況を把握し、横の連携を常に行っている。

(2) 尾道市立長江小学校

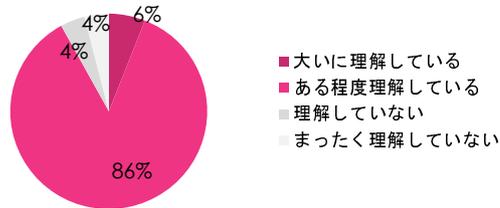
長江小学校教職員を対象に「長江放課後子供教室」に対する意識調査に関するアンケート **別紙4** を実施 (平成27年12月24日 14名から回答)

● 学校の基本情報 (平成27年5月1日現在) ●

学年	学級数	児童数	県費負担教職員数 (本務者)
1年	1	14	校長 1
2年	1	18	教頭 1
3年	1	23	主幹教諭
4年	1	17	教諭 10
5年	1	22	養護教諭 1
6年	1	19	事務職員 1
特別支援学級	2	11	
合計	8	124	合計 14

教職員の意識調査 アンケート結果

Q 1 放課後子供教室の活動内容は理解されていますか？

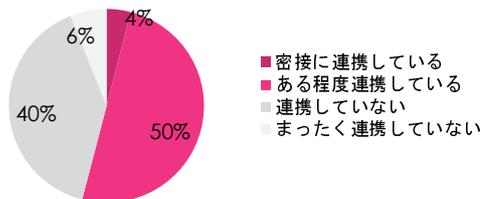


<自由記述欄>

- ◆ 子供たちが活動参加後、楽しそうに話してくれたり、話を聞く機会がある。
- ◆ お便りの配布等で活動内容を知ることができる。
- ◆ コーディネーターさんやスタッフの方と情報交換したり、見学をしている。
- ◆ 普段家庭ではなかなかできない活動（お茶作法や折り紙、料理等）をすることと思っている。
- ◆ 時間がある時など、子ども教室へ行って一緒に遊ばせていただいている。

- 9割以上の教職員が、放課後子供教室について理解するとともに、活動内容について把握して、日頃、子供からよく話を聞いている様子がわかった。
- 一方、理解していない教職員の理由としてあげられるのは、全体の場での説明等が十分に行われていないことが原因として考えられる。

Q 2 放課後子供教室のスタッフや子供と連携されていますか？

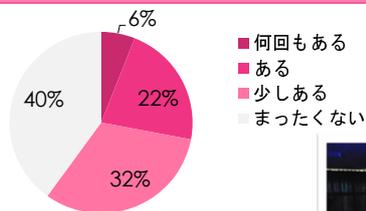


<自由記述欄>

- ◆ スタッフから子供の様子を聞いたり、活動で作った子供の作品を見に行ったり、活動内容を子供から聞いたりしている。
- ◆ 子供に対する特別な支援等、共通理解を図っている。
- ◆ 面談・電話により子供の様子や交流の業務連絡を行っている。
- ◆ 子供たちの様子を直接、子ども教室へ見に行ったり、指導員さんと話している。
- ◆ 何か問題があったときや、イベントがあったときなど話をして連携している。

- 学校によって違いはあるが、地域等の連携にあたるのは、主に管理職や主任が中心に窓口となって連携されている学校が多いところ、5割以上の教職員が、連携していると答えている。
- 連携していないと答えた教職員は、していないのではなく、十分に行えていないため、できていないと感じているのではないかと考えられる。

Q3 放課後子供教室の活動に参加又は見学されたことはありますか？



<自由記述欄>

- ◆ 児童発表で子供の成果を見るのを楽しみにしている。
- ◆ 子供（特に気になる子）の様子を見に行く。
- ◆ 子供に誘われたため、季節行事の活動に参加した。
- ◆ 子供の様子を知り、連携を指導に役立てたいので。
- ◆ 子供が問題をおこして話を聞いたあと、少し一緒に活動したり、その様子を見たりした。

- 文部科学省委託調査「放課後子どもプラン実施状況調査報告書」において、全国平均では、見学に行っている教職員は半数にも満たないが、連携がうまくいっているところでは、6割以上の教職員が子供たちの活動を見学等されている。
- 活動に参加できない主な理由として、担任クラスに参加児童がいなかったり、日々の業務の多忙や活動日が職員研修等に充てられているため、参加が難しい状況にもある。

Q4 放課後子供教室の活動について、どんなことが有効だと思いますか？



Q5 放課後子供教室に期待することは何ですか？



＜その他、教職員の意見等＞

- 縦割り活動、異年齢交流などで、児童は多くを学んでいる。
 - 放課後子供教室で調理や茶道など様々な体験ができ、子供たちは充実した時間を過ごしている。
 - 活動が楽しく行えるように工夫されており、これからも連携をしていきたい。
 - 子供たちの居場所があることに感謝している。
 - 子供たちのために、あたたかい居場所を準備していただき感謝している。これからも協力して一緒に子供を育ていきたい。
 - 地域の方が大変よく関わっていただき、感謝している。
 - 各行事の企画、運営のおかげで、子供たちが楽しめていることは良いこと。引き続きお願いしたい。
 - 子供たちはとても楽しく貴重な体験をしている。指導して下さる地域の方々に感謝している。
- 学校教育以外の放課後子供教室で実施されている活動に、感謝している教職員が多数いる。
- 子供と関わる多様な人材や学習集団、体験活動を含む学習時間や場所の提供など、放課後子供教室の活動に理解が示されている。
- 放課後子供教室の活動が、創意工夫に富んだ多様なプログラム活動であり、その充実度が伺える。

6 課題と今後の方向性

(1) 見えてきた課題

- ◆ 市町・教室・学校によって、取組に差が見られ、好事例の普及、人材育成等、行政による支援が必要である。
- ◆ 多様な活動プログラムの提供は充実しているが、現状は、それぞれの活動ごとにコーディネートがなされ、必ずしもプログラムとして個々の活動の横の連携が十分でない。
- ◆ 活動に十分な理解を示す一方で、コーディネート機能の大部分が特定の個人に依存し、結果として持続可能な体制がつくられていない。

(2) 今後の方向性

- 放課後子供教室における企画運営会議等の機能を生かして、学校支援や地域活性化のための活動を展開し、学校と協働しながら自らの役割を担っていく持続可能な仕組みづくりを推進する。
- 地域による学校への理解や協力が進み、学校もまた課題解決に向けた取組を行う中、それぞれの特性を生かした多様なプログラムを充実させる。
- 放課後子供教室と学校の連携を通じて、地域が学校の教育活動を支援するだけでなく、地域と学校がパートナーとして、地域振興について学校とともに教育活動の推進を図っていく必要がある。

7 参考資料・引用文献等

- 中央教育審議会生涯学習部会「子供たちの豊かな学びのための放課後・土曜日の教育環境づくり～"あったらいいな"を実現する夢の教育～」平成26年6月
- 文部科学省 地域・学校支援推進室 平成28年度「学校を核とした地域力強化プラン」概算要求に係るブロック説明会資料 平成27年9月
- 文部科学省「次世代の学校・地域」創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生プラン～ 平成28年1月25日
- 文部科学省・厚生労働省HP「学校と地域でつくる学びの未来」
- 東広島市立三ツ城小学校HP
- 尾道市立長江小学校HP
- 広島県教育委員会HP「公立学校基本数」
- 広島県教育委員会生涯学習課「H27（H26実績）放課後子供教室市町別実施状況の内訳書」
- 公益財団法人さわやか福祉財団「子供の主体的な遊びにより人間力を育てるための調査研究事業報告書」 2011年3月
- 広島県立生涯学習センター柳川明美 平成26年度研究成果報告書「放課後子供教室における連携の充実に向けて」

平成27年度 市町別放課後子供教室と「学校との連携について」ヒアリング状況一覧

市町名	文科省 事業実施 の有無	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所		学校との連絡調整				行動計画 の 策定	運 営 状 況									
				学校	公民館等	市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他		設置 要綱	主体	活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施			
													市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他	市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他
1 広島市	無	青少年育成部 育成課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 呉市	有	文化スポーツ部 文化振興課	2	2	—	○	○			△	○	市		○				○	○	
3 竹原市	無	まちづくり推進課 文化生涯学習室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 三原市	有	教育委員会 生涯学習課	22	22	—	○	○			●	○	市		○				○	○	
5 尾道市	有	教育委員会 生涯学習課	12	9	3	○	○	○		○	○	市		○	○			○	○	
6 福山市	有	市民局まちづくり推進部 生涯学習課	39	36	3			○	○		○	市		○	○			○	○	
7 府中市	有	教育委員会 生涯学習課	4	2	2	○		○		●	○	市	○		○		○		○	
8 三次市	有	子育て・女性支援部 子育て支援課	5	3	2					●		委託								
9 庄原市	有	教育委員会 生涯学習課	8	5	3			○	○	○		委託			○				○	
10 大竹市	有	教育委員会 生涯学習課	3	1	2	○	○			●		委託	○	○					○	○
11 東広島市	有	教育委員会 青少年育成課	32	12	20	○	○			○	○	一部 委託		○	○			○	○	
12 廿日市市	単市	教育委員会 生涯学習課	4	3	1	○	○				○	市		○	○			○	○	
13 安芸高田市	有	教育委員会 生涯学習課	1	—	1	○	○			○		委託		○	○			○	○	
14 江田島市	無	教育委員会 生涯学習課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 府中町	有	教育委員会 社会教育課	5	5	—	○	○			○	○	町	○	○				○	○	
16 海田町	有	教育委員会 生涯学習課	2	—	2	○				●	○	町		○	○			○	○	
17 熊野町	有	教育委員会 生涯学習課	2	—	2	○				●		町	○				○	○	○	
18 坂町	有	教育委員会 生涯学習課	3	3	—	○				△		町	○				○		○	
19 安芸太田町	有	教育委員会 生涯学習課	4	4	—	○	○	○		○		町	○	○				○	○	○
20 北広島町	有	教育委員会 生涯学習課	4	1	3	○				●	○	一部 委託								
21 大崎上島町	有	教育委員会 社会教育課	3	3	—	○	○			●	○	町	○	○				○	○	
22 世羅町	有	教育委員会 社会教育課	2	—	2	○				●		町	○				○			
23 神石高原町	有	教育委員会 生涯学習課	6	—	6	○	○		○	○		町		○		○		○		○
計	19		163																	

※次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画策定状況が、策定済の場合は○、別計画で策定済の場合は●、平成27年度中に行動計画又は別計画を策定予定の場合は△

別紙1

あなたの放課後子供教室と学校との連携に関するアンケート 【御協力をお願い】

皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室の更なる充実を図ることを目指し、放課後子供教室スタッフを対象に「学校との連携」等を把握するため、本アンケートを行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



所 属	
名 前	

あなたの放課後子供教室と学校との関わりについて、あてはまるもの
全てに○をしてください。

また、そのほか具体的な内容がありましたら括弧内にお書きください。

問 1 学校との関わりの現状はどのようなものですか？

- 1 協力を得ている
- 2 放課後等に教職員とのあいさつ
- 3 子供の様子の相談や問題を抱えている子供に関して、学校の先生と話し合っている
- 4 活動プログラム作成時のチェック
- 5 教室便り等のチェック
- 6 学校行事へのスタッフの参加（学習発表会（〇〇小祭等）、運動会・・・）
- 7 月（又は、学期）に1度会議を行い、共通認識を図る
- 8 情報交換及び提供を活発に行っている

自由記述欄

問2 校長先生、その他の教職員の方々との関わりは？

- 1 校長先生（その他の教職員）は、放課後子供教室に対する理解がある
- 2 放課後子供教室の会議に校長先生（その他の教職員）に参加してもらっている

- 3 学校便りや学年便りを届けてくれる
- 4 先生とのやりとりは多く、情報交換している
- 5 施設の利用について先生とよく話す（体育館、家庭科室等利用時）
- 6 いじめの芽を発見した時はすぐに担任の先生に報告する
- 7 スタッフが多面的に子供を観察し、その事実を担任に報告する
- 8 トラブルだけではなく、良いことも担任に報告するようにしている
- 9 子供を早く学校から出したいと考える教職員もいる

自由記述欄

問3 学校から期待されていると感じることはありますか、それはどんなことですか？

- 1 学校に信頼されて任せられている
- 2 先生から感謝のことばを言われる
- 3 規則正しい生活習慣（あいさつ・宿題仕上げ等）
- 4 異年齢交流
- 5 様々な活動プログラム
- 6 子供のトラブルに対して学校が積極的にサポートしてくれている
- 7 子供の人間関係などの情報提供がある
- 8 子供の報告をした時に好意的に受け取ってくれるようになり、連携が図りやすくなった

自由記述欄

問4 学校に期待することは何ですか？

- 1 安心・安全な環境づくり
- 2 放課後子供教室の理解
- 3 情報の提供

自由記述欄



問5 放課後子供教室に対する御意見をお聞かせください。

自由記述欄

ありがとうございました。

三ツ城わくわく広場に対する意識調査に関するアンケート 【御協力をお願い】

教職員の皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室をより一層支援していくために、三ツ城小学校の教職員の皆様を対象に「三ツ城わくわく広場に対する意識調査に関するアンケート」を行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、御多忙のこととは存じますが、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



回答期限	平成27年11月30日(月)
提出先	教頭先生まで

三ツ城わくわく広場に対する感想等について、あてはまるものに○をしてください。(複数回答可)
また、その具体的な理由等がありましたら括弧内にお書きください。

問1 三ツ城わくわく広場の活動内容は理解されていますか？

- 1 大いに理解している
- 2 ある程度理解している
- 3 理解していない
- 4 まったく理解していない



その理由は

問2 三ツ城わくわく広場のスタッフや子供と連携されていますか？

- 1 密接に連携している
- 2 ある程度連携している
- 3 連携していない
- 4 まったく連携していない

その理由と、連携されている場合はその内容と方法

裏面もお願いします。

問3 三ツ城わくわく広場の活動に参加又は見学されたことはありますか？

- 1 何回もある 2 ある 3 少しある 4 まったくない

その理由

問4 三ツ城わくわく広場の活動について、どんなことが有効だと思いますか？

- 1 放課後に安心・安全な場所で遊んだり，学んだりできる
- 2 子供たちが異年齢の友達と遊んだり，学んだりできる
- 3 子供たちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- 4 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- 5 地域の大人同士が関わりを持てる
- 6 有効だとは思わない



その他具体的に

問5 三ツ城わくわく広場に期待することは何ですか？

- 1 平日の放課後子供教室や児童クラブとの連携を深め地域で子供を育てる環境づくり
- 2 学校やコーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 3 体験学習から地域の魅力を再発見できる「生きる力」を育てる教室の開催
- 4 教室スタッフによる出前授業等の開催
- 5 特にない

その他具体的に

問6 放課後子供教室に対する御意見やご要望をお聞かせください。

自由記述欄



長江放課後子ども教室に対する意識調査に関するアンケート 【御協力をお願い】

教職員の皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室をより一層支援していくために、長江小学校の教職員の皆様を対象に「長江放課後子ども教室に対する意識調査に関するアンケート」を行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、御多忙のこととは存じますが、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



回答期限	平成 27 年 12 月 10 日 (木)
提出先	教頭先生まで

長江放課後子ども教室に対する感想等について、あてはまるものに○を
してください。(複数回答可)
また、その具体的な理由等がありましたら括弧内にお書きください。

問 1 長江放課後子ども教室の活動内容は理解されていますか？

- 1 大いに理解している
- 2 ある程度理解している
- 3 理解していない
- 4 まったく理解していない

その理由は



問2 長江放課後子ども教室のスタッフや子供と連携されていますか？

- 1 密接に連携している
- 2 ある程度連携している
- 3 連携していない
- 4 まったく連携していない

その理由と、連携されている場合はその内容と方法

裏面もお願いします。

問3 長江放課後子ども教室の活動に参加又は見学されたことはありますか？

- 1 何回もある 2 ある 3 少しある 4 まったくない

その理由

問4 長江放課後子ども教室の活動について、どんなことが有効だと思いますか？

- 1 放課後に安心・安全な場所で遊んだり，学んだりできる
- 2 子供たちが異年齢の友達と遊んだり，学んだりできる
- 3 子供たちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- 4 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- 5 地域の大人同士が関わりを持てる
- 6 有効だとは思わない



その他具体的に

問5 長江放課後子ども教室に期待することは何ですか？

- 1 平日の放課後子供教室や児童クラブとの連携を深め地域で子供を育てる環境づくり
- 2 学校やコーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 3 体験学習から地域の魅力を再発見できる「生きる力」を育てる教室の開催
- 4 教室スタッフによる出前授業等の開催
- 5 特にない

その他具体的に

問6 放課後子供教室に対する御意見やご要望をお聞かせください。

自由記述欄

